その端数を四捨五入する。）

M　次の算式Ⅳによつて算定した数（当該数に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が３を超える場合には３とし、１に満たないときは１とする。）

算式Ⅳ

M＝21.46×（q－p）＋0.85

算式Ⅳの符号

［略］

q　平成30年から令和２年までの各年における自団体内就職者割合の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

N　次の算式Ⅴによつて算定した数（当該数に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が３を超える場合には３とし、１に満たないときは１とする。）

算式Ⅴ

N＝322.58×（s－r）＋7.06

算式Ⅴの符号

［略］

s　令和２年１月１日現在、令和３年１月１日現在及び令和４年１月１日現在における年少者人口比率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

O　次の算式Ⅵによつて算定した数（当該数が３を超える場合は３とする。）

算式Ⅵ

O＝｛14.14×（u－t）－0.63｝＋（4.42×u－5.60）

｛14.14×（u－t）－0.63｝に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、0.5に満たない場合は0.5とし、（4.42×u－5.60）に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、0.5に満たない場合は0.5とする。

算式Ⅵの符号

［略］

u　人口動態統計における平成30年から令和２年までの各年における合計特殊出生率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

P　次の算式Ⅶによつて算定した数（当該数が３を超える場合は３とする。）

算式Ⅶ

その端数を四捨五入する。）

M　次の算式Ⅳによつて算定した数（当該数に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が３を超える場合には３とし、１に満たないときは１とする。）

算式Ⅳ

M＝17.17×（q－p）＋0.89

算式Ⅳの符号

［同左］

q　平成29年から令和元年までの各年における自団体内就職者割合の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

N　次の算式Ⅴによつて算定した数（当該数に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が３を超える場合には３とし、１に満たないときは１とする。）

算式Ⅴ

N＝333.33×（s－r）＋6.77

算式Ⅴの符号

［同左］

s　平成31年１月１日現在、令和２年１月１日現在及び令和３年１月１日現在における年少者人口比率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

O　次の算式Ⅵによつて算定した数（当該数が３を超える場合は３とする。）

算式Ⅵ

O＝｛14.86×（u－t）－1.04｝＋（4.42×u－5.70）

｛14.86×（u－t）－1.04｝に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、0.5に満たない場合は0.5とし、（4.42×u－5.70）に小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、0.5に満たない場合は0.5とする。

算式Ⅵの符号

［同左］

u　人口動態統計における平成29年から令和元年までの各年における合計特殊出生率の合計数を３で除して得た数（小数点以下４位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

P　次の算式Ⅶによつて算定した数（当該数が３を超える場合は３とする。）

算式Ⅶ